

芝浦メカトロニクス（6590）26/3期第3四半期決算詳細分析レポート

生成AI需要を背景にした業績拡大とハイブリッドボンディングによる成長性評価

投資判断: ややポジティブ (Slightly Positive)

対象期間: 中長期

要約

- 業績: 26/3期第3四半期累計は、売上高+17%、営業利益+33%の大幅増益。SPE（半導体製造装置）後工程向けが牽引。
- 修正: 通期業績予想を上方修正（営業利益 150億円へ）。生成AI用GPU/HBM需要が想定超。
- 技術: 「枚葉式リン酸エッチング」および「ハイブリッドボンディング」のGNT製品が参入障壁を構築
- 株価: 株式分割（1:5）と増配を発表。ディスコ等の先行銘柄と比較し割安感が残る。

アナリストコメント

増収増益の要因は、SPE（半導体製造装置）分野、特に利益率率の高い先端パッケージ向け装置の貢献による。

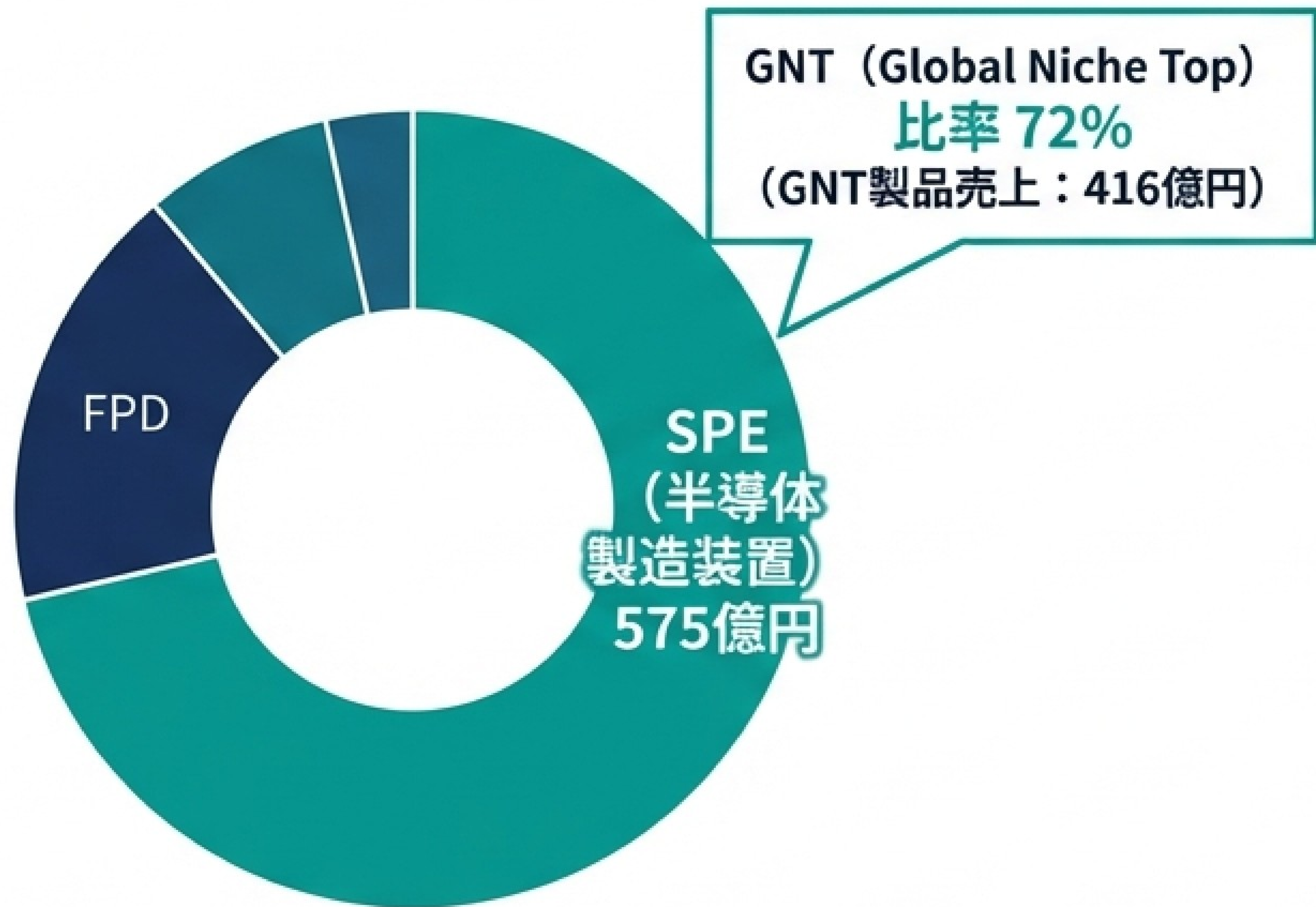
特筆すべきは営業利益率の改善であり、FPD分野の低迷をSPEの成長が完全にカバーしている。

通期計画に対する進捗率も約82%と極めて順調。

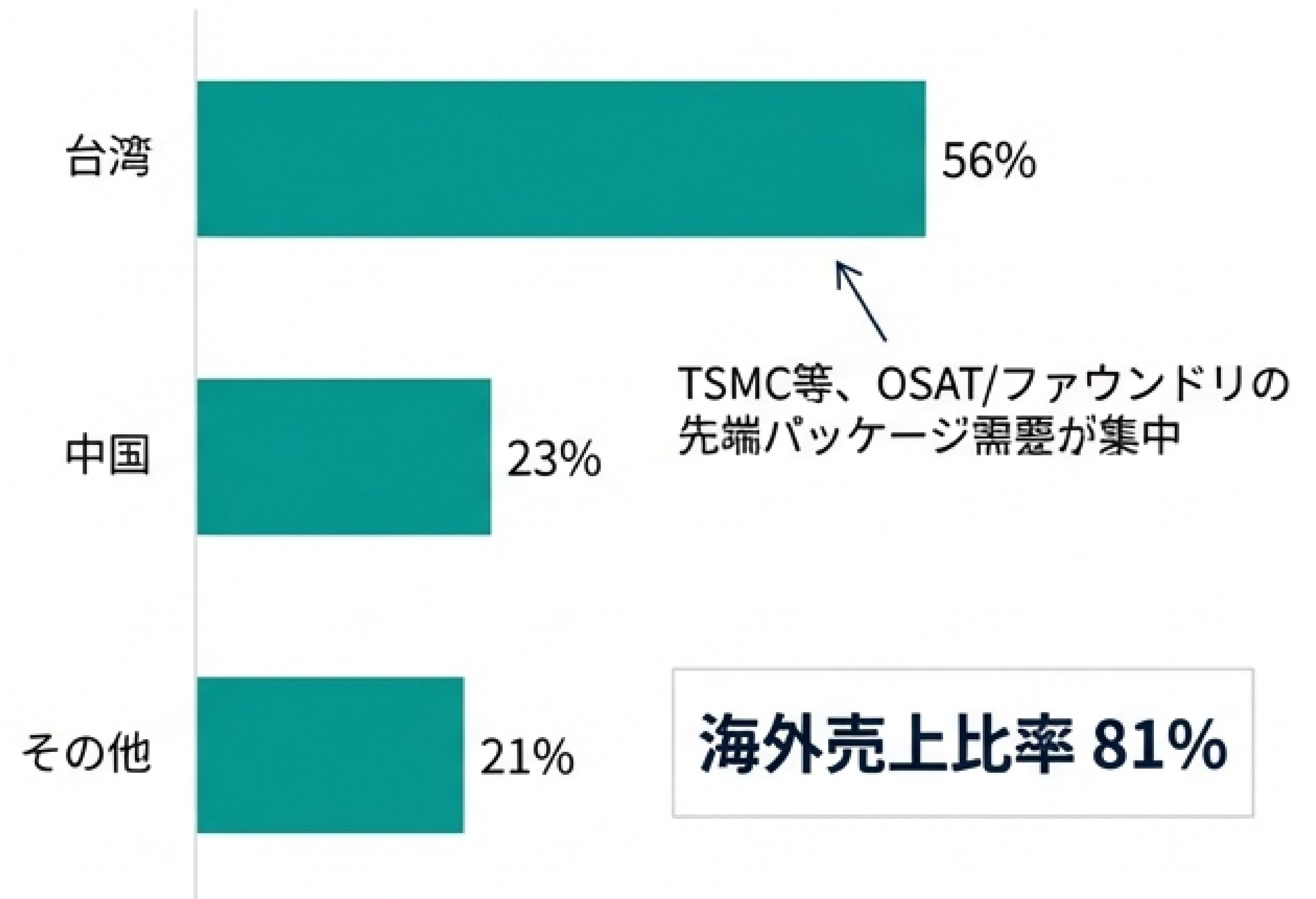
科目	金額 (億円)	前年同期比 (YoY)
売上高	661	+17.0%
営業利益	123	+32.6%
経常利益	121	+31.8%
四半期純利益	88	+27.4%



売上構成比



地域別売上比率 (3Q累計)



26/3期 通期業績予想の上方修正：生成AI需要が牽引

前回予想 vs 今回修正予想

項目	前回予想（11月）	今回修正予想（2月）	増減率
売上高	835億円	880億円	+5.4%
営業利益	125億円	150億円	+20.0%
当期純利益	89億円	108億円	+21.4%



生成AIの影響

GPU/HBM向け先端パッケージング装置の引き合いが想定を上回る。



受注環境

受注高693億円（前年比+27%）と急回復。豊富な受注残高が来期を支える。



市場環境

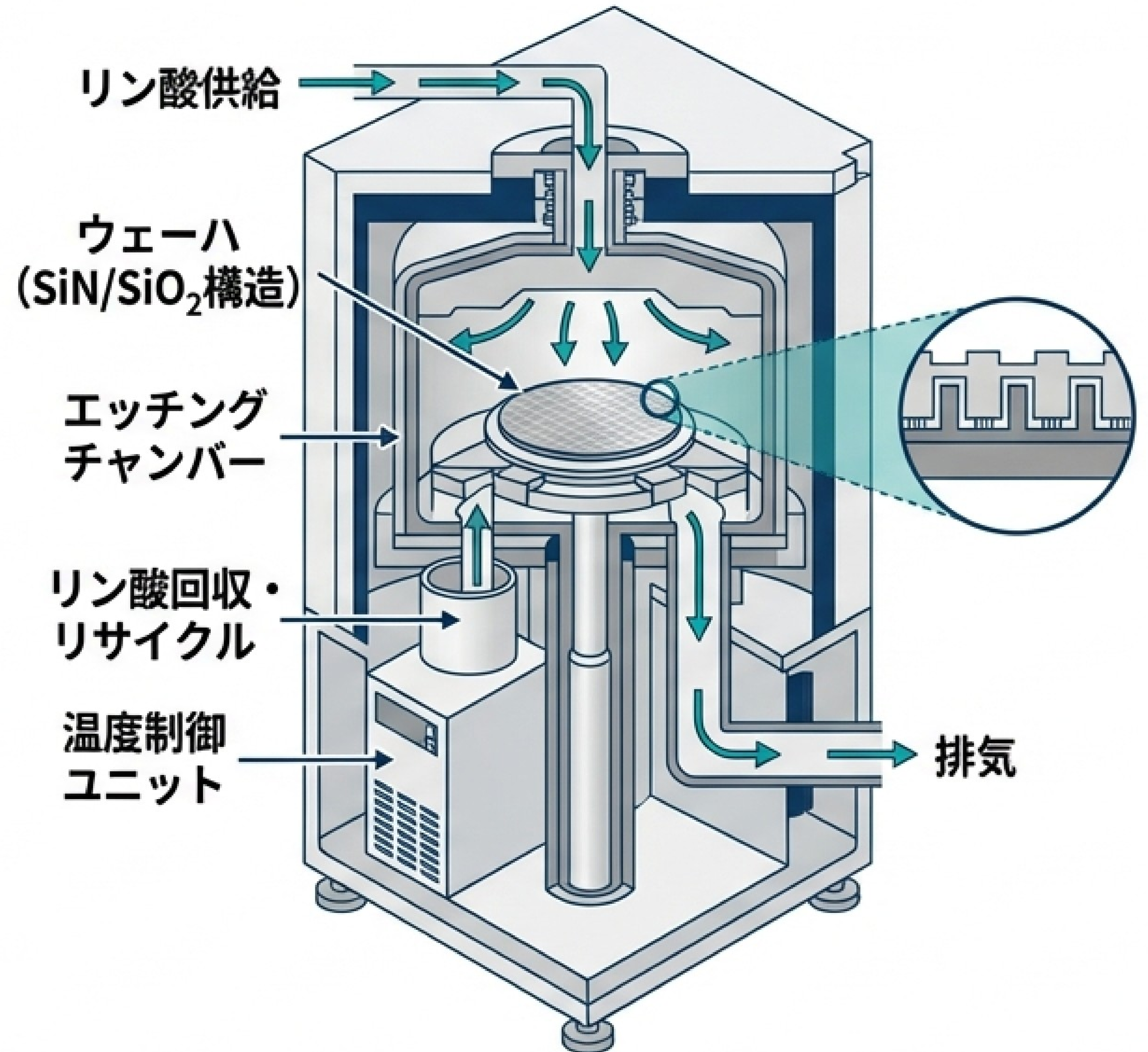
Siウェーハ製造向けは回復途上だが、後工程が強力なドライバー。

製品概要・競争優位性

- 製品：枚葉式リン酸エッチング装置
- 市場背景：3D NANDの高層化および先端ロジック（CPU/GPU）製造に不可欠。
- 競争優位性（Moat）
 - 高選択比：SiN（窒化膜）とSiO₂（酸化膜）の高選択比を実現。
 - 枚葉式：バッチ式に比べ均一性が高く、微細化に対応。
 - 環境性能：リン酸リサイクル機能による低コスト・低負荷。

Global Niche Top (GNT)
中核製品として高シェアを維持

Single Wafer Phosphoric Acid Etching System



技術的優位性 (Moat)

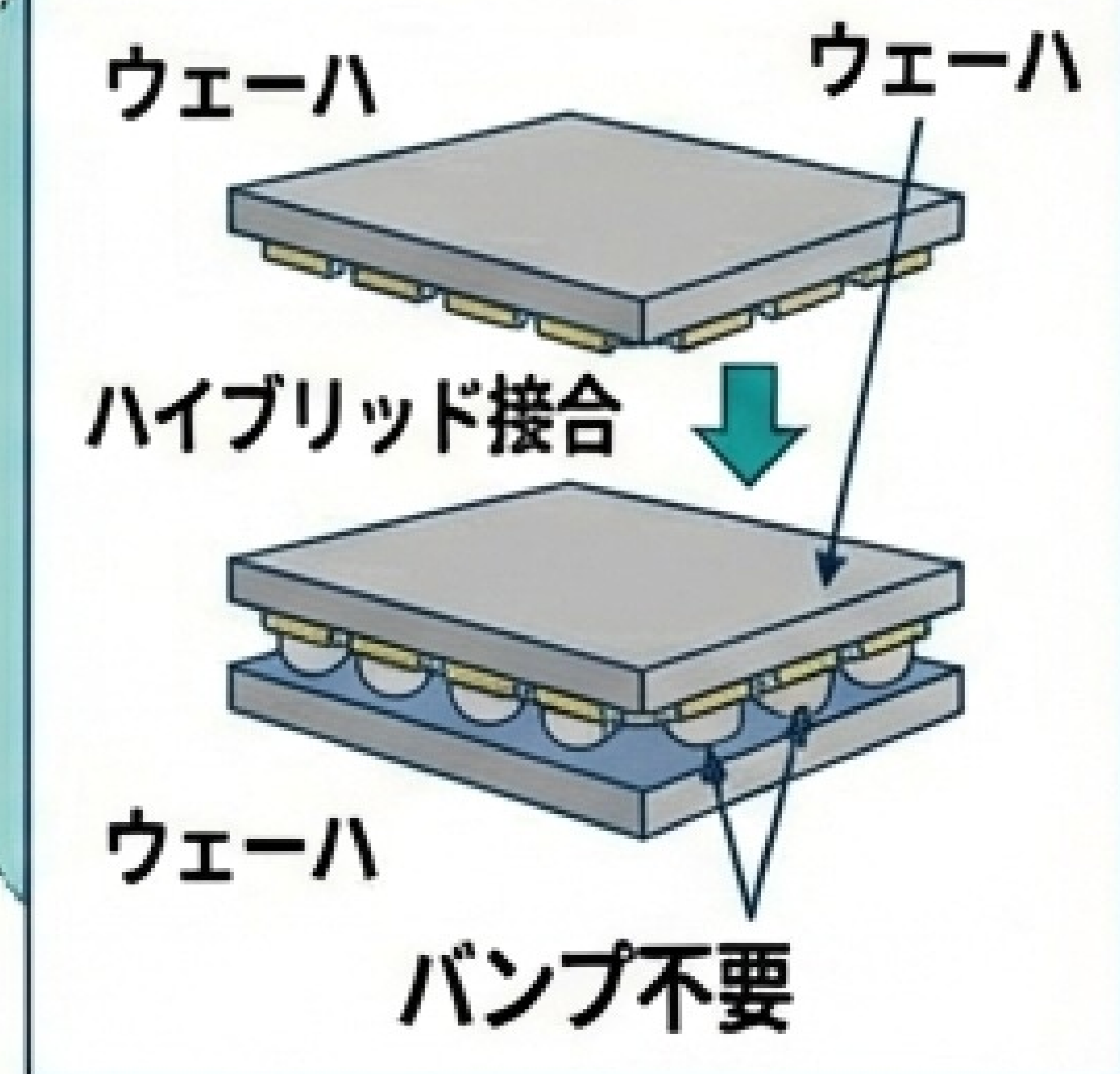
製品・市場背景

- 製品：フリップチップボンダ & ハイブリッドボンダ (TFCシリーズ)
- 市場背景：“Chiplet”時代の到来。生成AI用生成AI用GPUとHBMの接続に必須。
- 競争優位性 (Moat)
 - 超高精度：搭載精度 $<0.2\mu\text{m}$ (サブミクロン) の世界最高レベル。
 - 生産性：従来比3倍のスループットを実現 (TFC-6800)。
 - 次世代技術： bumps 不要の直接接合 (D2W-Hybrid) に対応。

TFC-6800 Flip Chip Bonder



Hybrid Bonding



FY27/3期以降の最大の成長エンジン

成長戦略：Global Niche Top (GNT) 戦略の推進

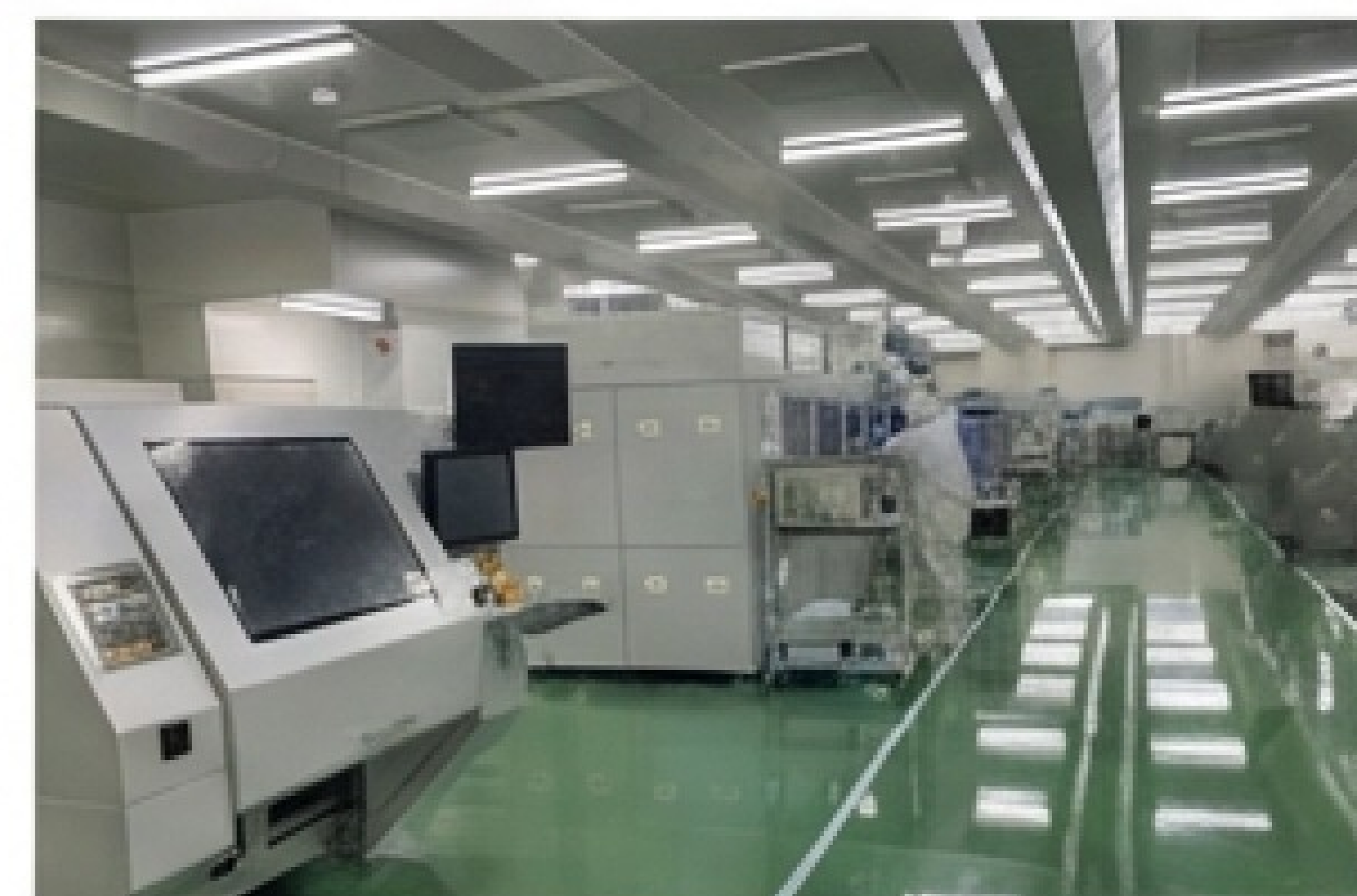


A R&D投資

- 中計期間で約200億円を投資。

B 生産能力増強

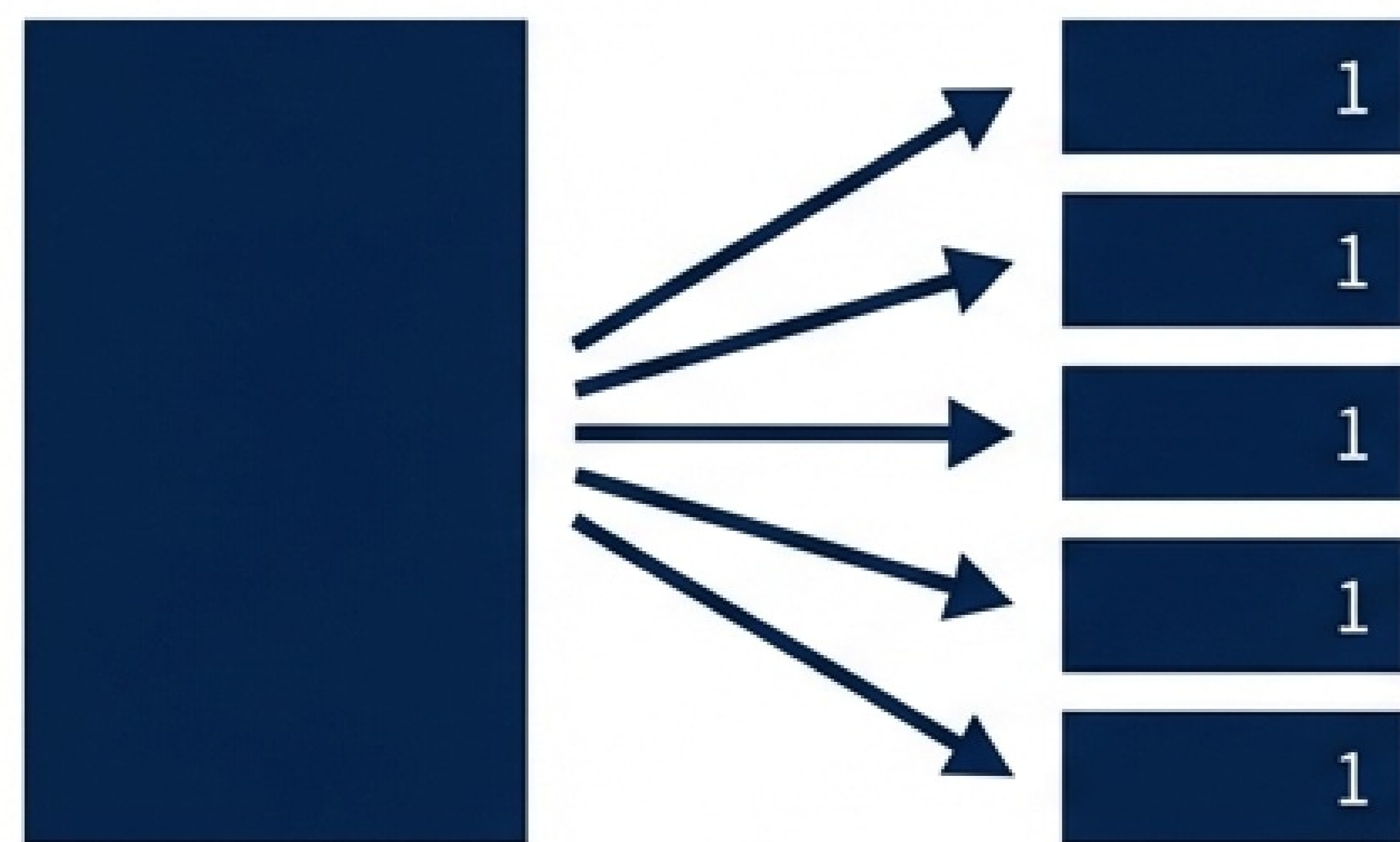
- 横浜事業所新棟 & さがみ野事業所クリーンルーム増設。



資本政策と株主還元：株式分割と増配

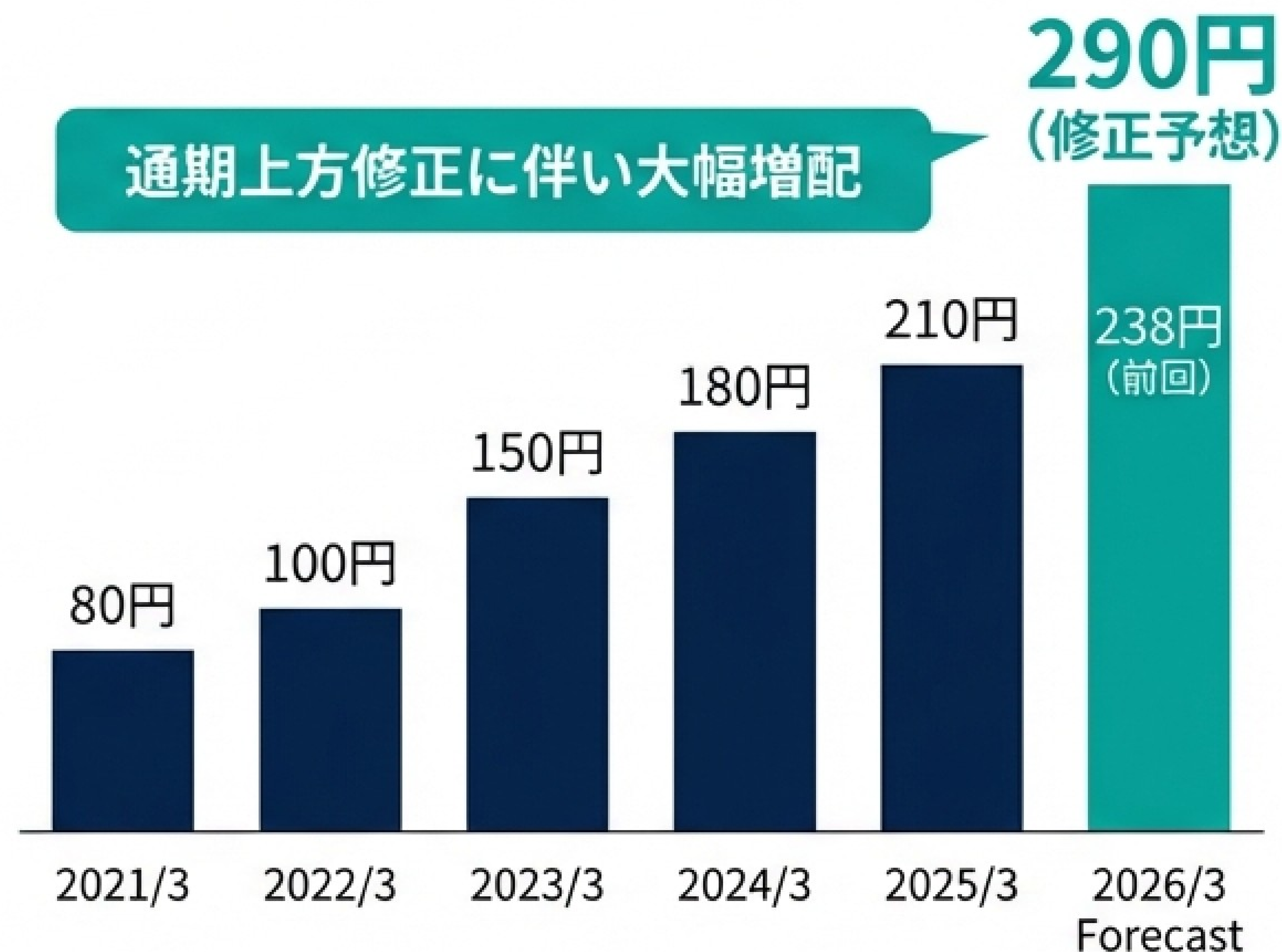
株式分割（1:5）

効力発生日：2026年3月1日



流動性の向上と投資家層の拡大へ

1株当たり配当金の推移（分割前換算）



Reference the dividend trend data, and split details.




バリュエーション比較：割安感のあるAI関連銘柄

銘柄	特徴	AI関連度	バリュエーション評価
芝浦メカトロニクス	GNT (洗浄/エッチング/ ボンディング)	高 (HBM/GPU)	割安 (Discount)
ディスコ/東京エレクトロン/TOWA	各工程のトップリーダー	高	プレミアム (Premium)

投資誰議

- **Value Gap:** ディスコやTOWAなどのAI本命株と比較し、PER水準には依然として乖離が存在。
- **Re-rating:** SPE比率の上昇とGNT戦略による高利益率定着により、マルチプルの切り上がりが期待される。

結論と投資判断：ややポジティブ (Slightly Positive)

 Near-term Momentum	 Mid-term Sustainability	 Valuation Opportunity
<p>生成AI投資の恩恵を直接受ける「ボンディング」「エッチング」が好調。通期上振れ達成の蓋然性が高い。</p>	<p>GNT戦略による高シェア・高収益製品への集中が完了。FPD依存からの脱却。</p>	<p>株式分割というカタリストに加え、同業他社比での割安感が投資妙味を提供。</p>

リスク要因:

対中輸出規制の強化、半導体シリコンサイクルの回復遅延。